

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	水質汚濁防止事業（吉永）		コード	01-02-01-03	担当課	吉永市民福祉課 環境衛生係
事業実施期間			担当者	貞友 武典	電話	84-2592
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり				
	中項目	自然と共生するまちづくり				
	小項目	環境保全				
	施策	水質汚濁の防止				

事業について	
目的	金剛川及び八塔寺川の環境状況の現状及び経年推移を把握するため、環境指標物質や人体に有害な物質などを調査測定し、公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。
対象（誰のために）	金剛川及び八塔寺川流域の地域住民（吉永地域、和気町）
内容	金剛川浄化対策協議会を組織する市町の一つとして、金剛川及び八塔寺川の両河川にpH測定機を常設し、水質を監視している。また、市内11箇所で工場排水や河川の採水を概ね2週間に1回行い、不測の事態にすばやく対応できる体制を採っている。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など	回数など	回数など
pH測定機維持管理	2箇所		
採水調査	概ね2週間に1回		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	598	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,510	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,108	一般財源等	3,108	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.30	人
------	------	---

結果指標①	結果指標名	pH測定機維持管理	
	結果指標量	2	
	単位	箇所	
	対前年比	—	
	事業費	3,108,000	円
	単位当たりコスト①	1,554,000	円

結果指標②	結果指標名	pH測定機の維持管理	
	結果指標量	2	
	単位	箇所	
	対前年比	—	
	事業費		円
	単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	pH測定機の維持管理	式又は説明	pH測定機のチャート紙、電気代、修繕料、保守管理委託料
成果指標量	2		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	現状維持	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	コメント	評価区分
	継続して計測を行うことが肝要で概ね達成できているが、欠測データを減らすために測定機器の十分な保守管理を行う必要がある。また、周辺環境の状況変化に配慮しながらの事業継続が妥当である。	<A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度	結果指標量① 2台 結果指標量②
目標値	成果指標量 現状維持とする。

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	備前地域、吉永地域の事業一本化	19年度	業務集約による省力

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

環境状況、変化を正確に把握するために、適切な調査測定を目指す。

2箇所共に取水ポンプの取り替えを実施したが、必要最小限の測定を維持していくためには止むを得ない経費と思われる。

信頼性の高いデータを残すため、より確実な測定を行い欠測を減らすことが必要である。